

環境心理学・環境行動論のレポート課題

以下のうちから、1つ選択して、3200字以上のレポートを作成すること。字数制限はありません。

できるだけ、ワープロでA4サイズで印刷すること。手書きの場合は400字詰め原稿用紙を使用すること。

1. 環境配慮行動の2段階モデルを自分なりに理解し整理したうえで説明しなさい。さらに、それにもとづく環境配慮行動を促す3つのアプローチの特徴と問題点を、それぞれの具体的な研究内容をくわしく紹介しながら、説明しなさい。
2. 環境計画への市民参加の事例を自分で探し、その内容を詳しく紹介した上で、その意義や問題点について、講義の内容と関連づけながら説明しなさい。とくに、参加の機会や代表性、あるいは計画への反映など市民参加の手続きの公正さがどのように担保されているのか、いないのかについて説明しなさい。
3. 現在、地球温暖化防止推進員や地域防災リーダーなど、環境配慮行動（省エネなど）や防災行動を地域で普及するためのチェンジエージェントを養成する制度が自治体にあります。具体的な事例をとりあげて紹介するとともに、その養成講座の狙いとその効果について、今回の講義の内容を参考にしながら評価しなさい。

レポートの提出日時と場所

7月30日午前9時半から10時15分までに、127講義室まで持参すること

この時間に提出できない場合は、事前に広瀬の研究室の郵便受けに投函しても良い。

以上